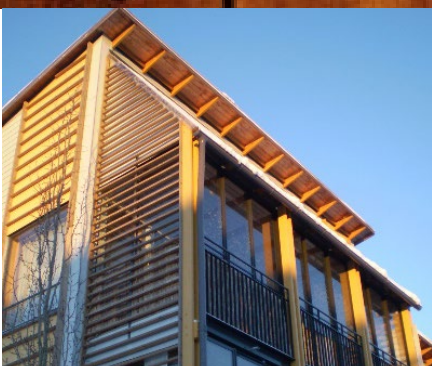


木外装が使いやすくなり
ました。

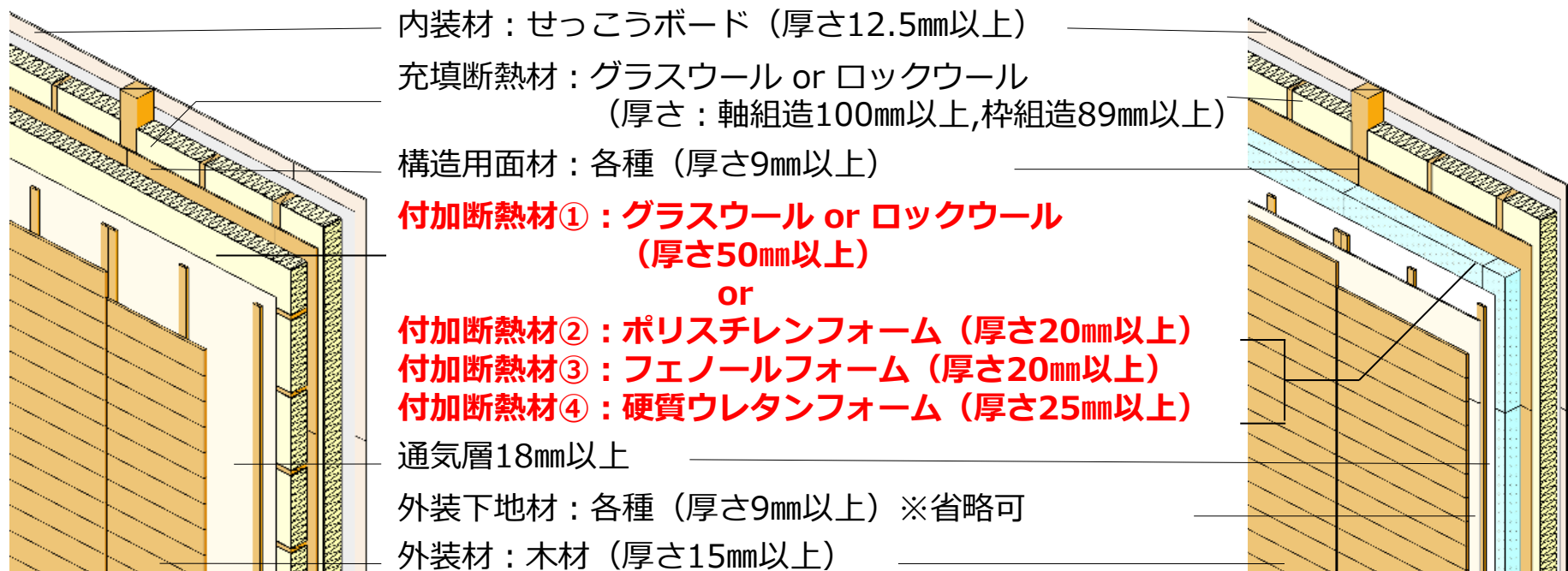
「北総研防火木外壁」 の概要

高断熱 火災にも強い木の壁



「北総研防火木外壁」とは

- ・道内で普及する付加断熱外壁に木質外装材を合わせた「防火構造」外壁
- ・北総研が研究開発。研究成果を民間企業に技術移転し、建築基準法に基づく国土交通大臣の認定を取得

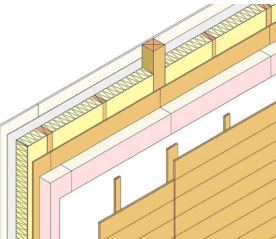
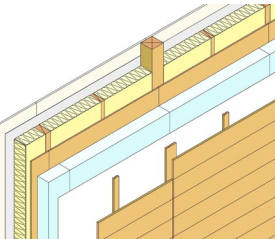
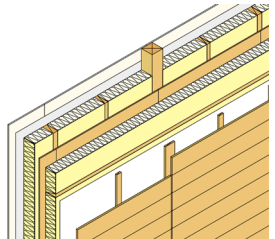
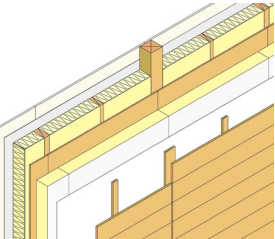
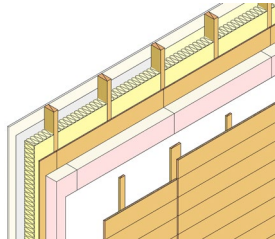
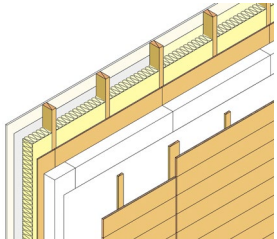


①グラスウール・ロックウール仕様

②ポリスチレンフォーム仕様
③フェノールフォーム仕様

「北総研防火木外壁」 大臣認定仕様一覧

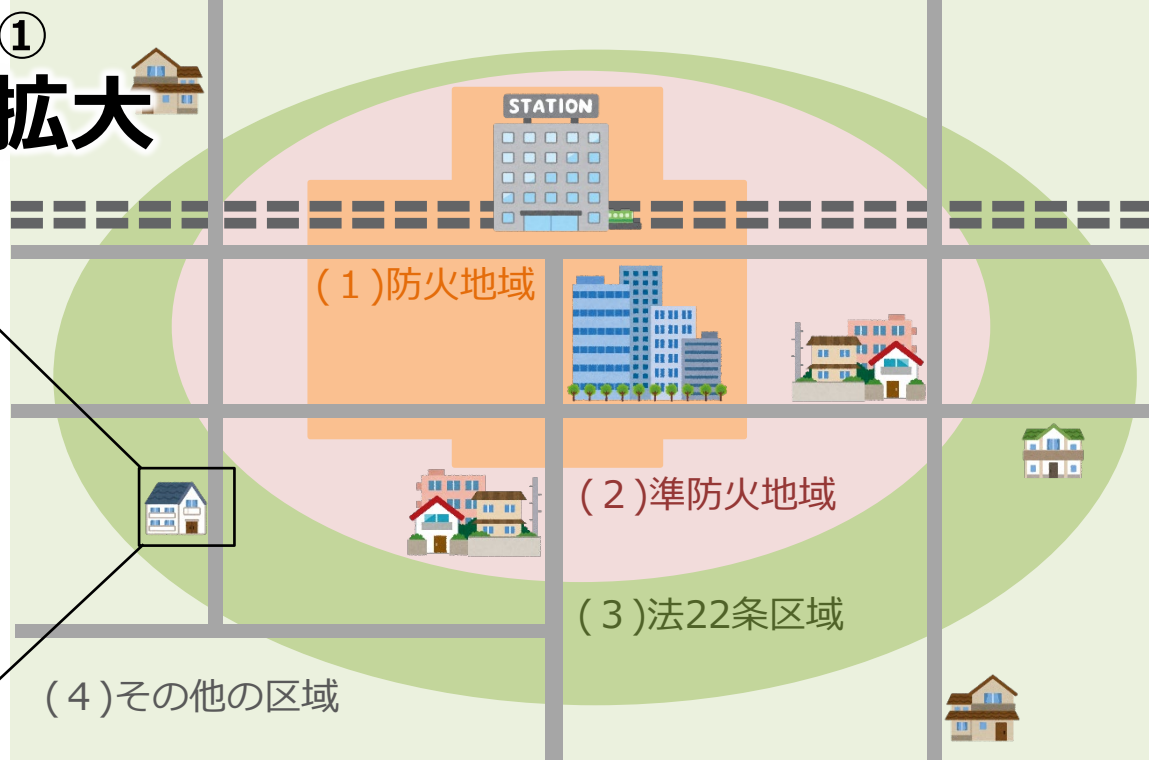
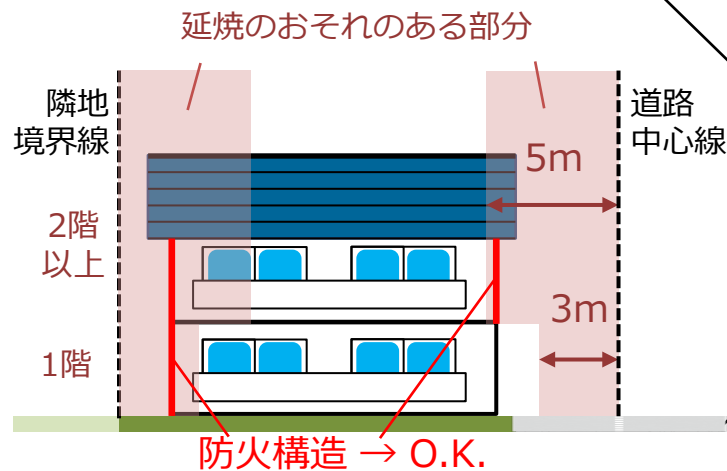
・下表の種類について、大臣認定を取得

	北総研 防火木外壁 (PF仕様)	北総研 防火木外壁 (PS仕様)	北総研 防火木外壁 (GW・RW仕様)	北総研 防火木外壁 (PUF仕様)	北総研 防火木外壁 (枠組PF仕様)	北総研 防火木外壁 (枠組PS仕様)
防火性能	30分 防火構造					
工法	木造軸組工法				枠組壁工法	
付加断熱材	フェノール フォーム	ポリスチレン フォーム 押出法・ビーズ法	グラスウール・ ロックウール	硬質ウレタン フォーム	フェノール フォーム	ポリスチレン フォーム 押出法・ビーズ法
						
大臣認定取得者	(株)旭化成建材	押出発泡ポリスチレン工業会・ 発泡スチロール協会	硝子繊維協会・ ロックウール工業会	アキレス (株)	(株)旭化成建材	(株)カネカ・ (株)JSP・ 発泡スチロール協会

※詳細は、大臣認定取得者である各工業会・メーカーにお問合せください。

北総研防火木外壁のメリット① 建築できる範囲が拡大

例 (3)法22条区域



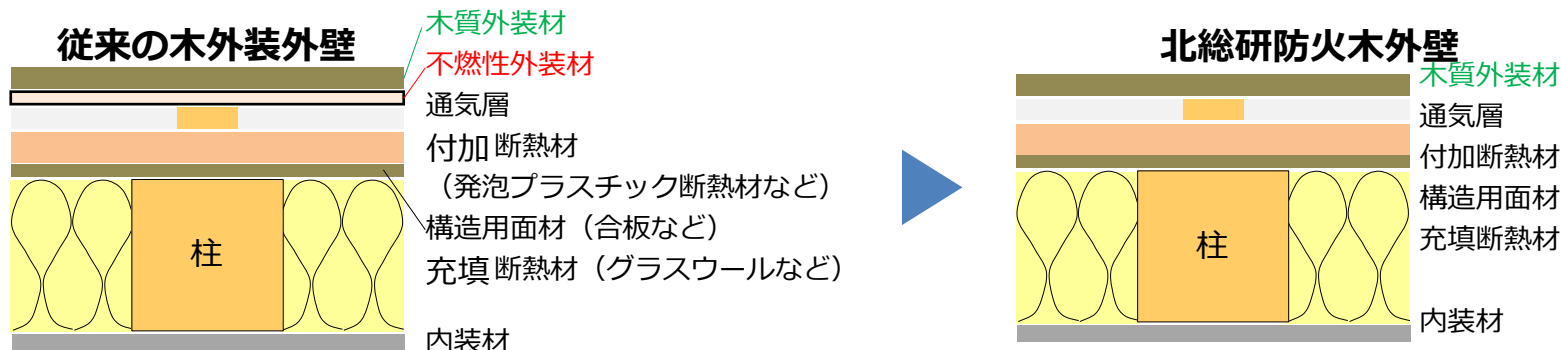
階数 準防火地域に求められる外壁の構造

法22条区域に求められる外壁の構造

階数	準防火地域に求められる外壁の構造	法22条区域に求められる外壁の構造
4～	耐火構造等	準耐火構造等
3	準耐火構造等	準防火性能 耐火構造等
2	防火構造	防火構造 (防火構造含む)
1	(延焼のおそれのある部分)	(延焼のおそれのある部分)
	床面積(㎡)	床面積(㎡)
	0 500 1,500	0 1,000 3,000 4

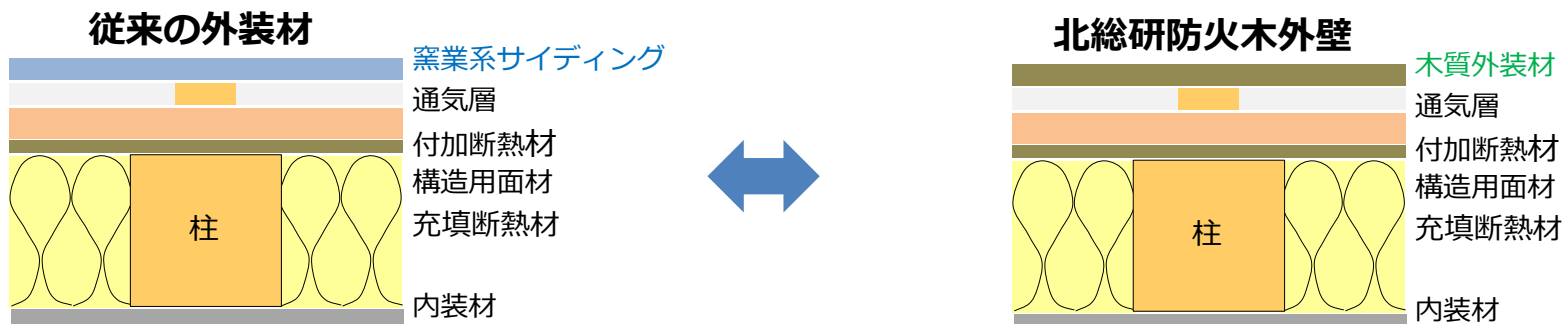
外装材施工の合理化・費用低減

②木質外装材を含めた防火認定により、施工が簡略化



③北海道で普及する一般的な施工法で実現できる

④下地不要 + 防火認定 → 他の外装材と横並びで選べる

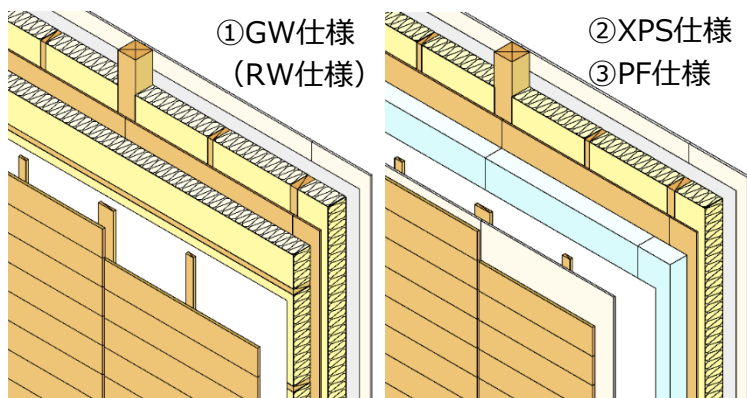


北総研防火木外壁のメリット⑤ 火災保険料の低減

住宅金融支援機構

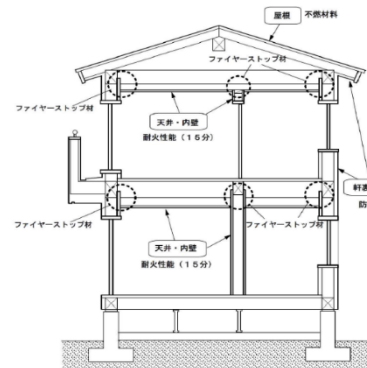
「省令準耐火構造」の適用

「防火構造」の外壁（・軒裏）



+

防火処置



特徴1

外部からの延焼防止

- ①外壁及び軒裏・・・防火構造
- ②屋根・・・不燃材料

特徴2

各室防火

- ③天井・壁にせつこうボード

特徴3

他室への延焼遅延

- ④ファイヤーストップ材

住宅金融支援機構
Japan Housing Finance Agency

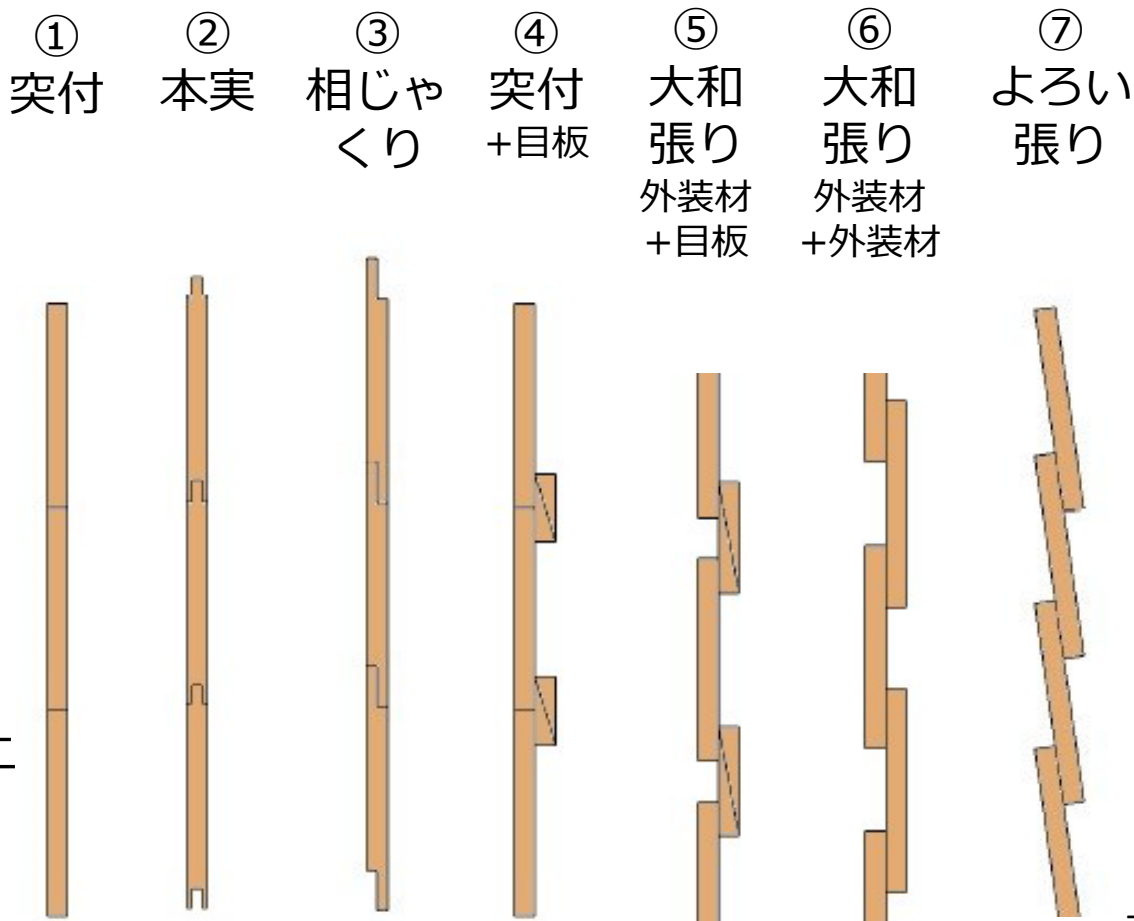
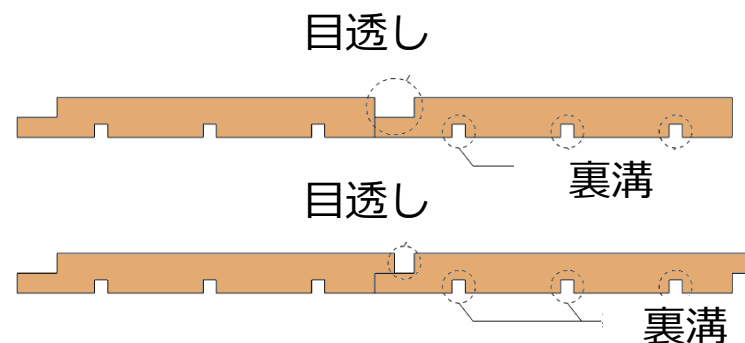
資産価値や保険の条件によるが、**火災保険料が安くなる。**

北総研防火木外壁のメリット⑥

デザイン性に富む木外装

木質外装材

- ・ 建築用材（製材）
- ・ 難燃処理 不要
- ・ 樹種 すべてO.K.
- ・ 幅 100～240mm
- ・ 厚さ 15～30mm
- ・ 塗装 520g/m²以下
- ・ 縦張り又は横張り
- ・ 張り方 ①～⑦ O.K.
- ・ 木材の重なり幅 15mm以上



北総研防火木外壁のメリット⑦

道産木材の利用促進

- ・ 見えるところに木材が使える



外装材 = 木材



柱・梁 = 木材



木材が街の表情となる

使った木材が見えない

- ・ 店舗建築など街なかの建築が、新たなターゲットになる。
- ・ 北海道の良質な街並み景観の形成が期待できる。
- ・ 道産木材の需要拡大、北海道の森林資源循環に貢献

北総研防火木外壁 適用事例

- ・ 外壁全面に適用
- ・ 玄関部のみ適用



設計事務所・工務店の皆様へのお願い

大臣認定の使用上の注意

- ・大臣認定書をご要望の際には、付加断熱材に応じて、各断熱材メーカーにお問い合わせください。
- ・実物件にお使いいただく際には、各断熱材メーカーの窓口の方に、ご一報をお願いします。
- ・大臣認定では、部材ごとに使える建材と留付け材の種類や寸法の範囲が、すべて決まっています。「北総研防火木外壁」をお使いいただく場合は、大臣認定書の記載通りに施工しているか必ずご確認ください。大臣認定書に記された仕様から、1つでも外れると、建築基準法違反になります。

地方独立行政法人北海道立総合研究機構
建築研究本部 北方建築総合研究所

〒078-8801 北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-20

TEL 0166-66-4218

nrb ■ hro.or.jp (■ → @)

<http://www.hro.or.jp/list/building/>

2021.03 編集・発行(Ver. 2022.11)

